

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-032954

(43)Date of publication of application : 02.02.2000

(51)Int.Cl.

A23L 1/30  
A23G 3/00  
A23L 1/275  
C09B 61/00  
// A61K 7/00  
A61K 35/78

(21)Application number : 10-236273

(71)Applicant : GOSHO:KK  
OKUMURA SHOZO

(22)Date of filing : 17.07.1998

(72)Inventor : OKUMURA SHOZO

## (54) ANTHOCYANIN-BASED RED RICE EXTRACT AND POWDER AND THEIR PRODUCTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To suppress the production of dioxins and environmental hormones, protect natural environments, human bodies, animal and plants, remove effects of toxic substances and produce the subject composition excellent in safety by applying a component and a pigment extracted from grains, or the like, of red rice to a food, or the like.

SOLUTION: This food and drink contains a component and a pigment extracted from grains seeds and epidermis of anthocyanin-based red rice which is a rice plant (*Oryza sativa* Linne) of the family Gramineae and further preferably contains a glycoside producing an aglycone, peralgonidin deficient in hydroxyl group at the 3-position, methylated peonidin having hydroxyl group at the 3-position, delphinidin, or the like, and a plum, a strawberry, green tea, black sugar, vitamins, or the like, which are antioxidant components and docosahexaenoic acid, eicosapentaenoic acid, a fish liver oil, or the like.

## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-32954

(P2000-32954A)

(43) 公開日 平成12年2月2日(2000.2.2)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テームコード <sup>*</sup> (参考)
A 2 3 L 1/30		A 2 3 L 1/30	B 4 B 0 1 4
A 2 3 G 3/00	1 0 4	A 2 3 G 3/00	1 0 4 4 B 0 1 8
A 2 3 L 1/275		A 2 3 L 1/275	4 C 0 8 3
C 0 9 B 61/00		C 0 9 B 61/00	C 4 C 0 8 8
// A 6 1 K 7/00		A 6 1 K 7/00	K
審査請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全 3 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願平10-236273

(22) 出願日 平成10年7月17日(1998.7.17)

(71) 出願人 598114217

株式会社江商

大阪府中央区瓦町4丁目4番14号

(71) 出願人 598114228

奥村 昌三

大阪府枚方市香里丘1-18-5

(72) 発明者 奥村 昌三

大阪府枚方市香里丘1-18-5

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 アントシアニン系赤米抽出液・粉末とその製造法

(57) 【要約】

【目的】 食品添加物による環境ホルモン、ダイオキシンとなる有害物質を取り除き、環境・人類にとって有意義な解決を得ること。

【構成】 アントシアニン系の赤米の粒子、種子、表皮の成分と糖類と抗酸化食品と魚肝油からなる組み合わせ食品の組成物。

【効果】 自然環境破壊、動植物、人体等に悪影響のない、本発明組成物が人類の食品安全性を高める。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】イネ科イネ (*Oryza sativa* Linne) のアントシアニン系の赤米の粒子、種子、表皮から抽出する成分及び色素を食品、医薬、化粧、染料に応用し、自然環境・対人・動植物を保護し、有害物質からの影響を取り除くのを目的とするアントシアニン系赤米抽出液・粉末組成物。

【請求項2】アグリコン生成の配糖体、3-位の水酸基が欠けているペラルゴニジン、3-位水酸基メチル化ペオニジン、デルフニジン、ベツニシン、マルビジン、グルコース、ガラクトース、ラムノース、キシロース、アラビノース、 $C_nH_{2n}O_n$  ( $n=3\sim10$ ) の2~3の組み合わせと芳香族オキシ酸の組み合わせ、3-グリニシド、3, 5ジグルコシド。から選ばれる少なくとも1種以上を含有する請求項1記載のアントシアニン系赤米抽出液・粉末組成物。

【請求項3】抗酸化成分のプラム、イチゴ、アテモネの花、緑茶、黒ゴマ、黒砂糖、ココア、インゲン豆、バナナの皮、ザクロの樹液、黒豆黒米、ジャガイモの塊茎、スイートピーの花、ユーカリ、ナデシコ目の植物、イカダカズラ、コケ類、赤ミズゴケ、イワタズコ、ビタミン類 (E, B, D, M, C, A, F, G, H, K, L, P)。から選ばれる少なくとも1種以上を含有する請求項1, 2記載のアントシアニン系赤米抽出液・粉末組成物。

【請求項4】DHA (ドコサヘキサエン酸)、EPA (エイコサペンタエン酸) 魚肝油。から選ばれ含有する請求項1, 2, 3記載のアントシアニン系赤米抽出液・粉末組成物。

## 【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】本発明は自然環境・対人・動植物を保護し、有害物質を取り除くのを、環境破壊・発癌・動脈硬化・心臓病・糖尿病・ボケ防止・白内障・便秘の解消・性ホルモンの分泌を活性化させ、抗酸化成分による活性酸素の発生を正常に細胞に伝達し、遺伝子細胞を保護す。皮膚吸収アレルギー反応・黒皮症変異発病・発癌性のある色素号として2, 102, 201, 202, 203, 204, 205, 206, 207, 208, 219, 220, 221, 225, 227, 228, 404, 405, 501, 50, 503, 504, 505, 506, 赤色226, 赤色キサンチン色素は皮膚刺激・発赤毒性・変異原性・発癌があり, 3, 101, 105, 106, 213, 214, 215, 218, 223, 230-1, 230-2, 231, 232, 401。黒色401は皮膚粘膜刺激発疹・色素沈着・皮膚吸収中毒死・経口で肝臓、腎臓障害、昏睡、虚脱死などがあり、地球環境破壊・動植物・人類にとって有意義に解決することを目的としている、有害物質を取り除くことに関するものである。

【従来の技術】特開平9-154532にある食品赤色

に着色にする方法があり、アカダイコン、アカカブよりの食品用色素としてある。コチニール色素、ラック色素、アカネ色素等のキノ系色素、赤キャベツ色素、紅麴色素、ブドウ果汁色素、ペリー類色素のアンシアニン系、クチナシ色素、赤ビート色素があるが弱酸、中性域の食品着色に用いる場合欠点があり、補助として合成品としているために又ダイオキシン、環境ホルモンの発生となっている。

【発明が解決しようとする課題】本発明は有害なダイオキシン、環境ホルモンの発生を抑え、さらにすでに混入している血液中 (医師会の平均値15歳以下は未混入であるが以上は混入され排出は一切しない) の発癌の原因となっている有害物質を取り除き安全な製品にすることができます。赤米の粒子、種子、表皮抽出液はジアニン-3-グリニシドの主色素で鉄分、ビタミンを多く含まれており、抗酸化作用があり、あらゆる病気の予防に効果が認められ、梅干し、漬物、キャンディと応用範囲が広く、酸性食品では滋養性があり、強飯、おかゆ、餅、せんべい、米麺、ちまき、ダンゴ、麴、糠、お茶、と広範囲食品となり、又請求項2, 3, 4の組み合わせにより健康な肉体を維持することが出来、ストレス犯罪の減少にも役立てることができるのを課題としている。

【課題を解決するための手段】そこで本発明は赤米の抽出液・粉末および粒子種子、表皮と請求項2にある糖類のくみあわせと請求項3にある植物の組み合わせと請求項4にある魚肝油との配合に着目し、ダイオキシン、環境ホルモンの有害物質を取り除き、効果が認められたので、本発明組成を得る事を目的にしたものである。

【作用】本発明のアントシアニン系赤米抽出液・粉末は従来から地球上に存在する植物である、従来の食品製造で加工でき、取り扱いに有害物質をふくまず安全で効果を高める。

【実施例】以下実施例により本発明の具体例をさらに十分に説明する。なをこれらの実施例は例示を目的とするだけであって、決して本発明を限定することを意図しない。

【実施例1】実施例1は請求項4の実施例を示すものである。このアントシアニン系赤米抽出液・粉末は赤米滋養抗酸化ビタミン100gを作る。ミネラル水100gに赤米20~40gをいれ、60~80℃で蒸し、40~50gを得、DHA1~5gとEPA1~5gを加え更に60~80℃で蒸し、加圧をし5~10ccの液を得る。本方法で得られた液をせんべいに塗ったところ栄養価も高く、有害物質も認められず、ネズミ経口では未反応で安全であることが確かめられたと同時に排便にビタミンも確認もされ、効果が認められた。

【発明の効果】この本発明のアンシアニン系赤米抽出液・粉末は自然界地球上栽培されている稲作植物で安全性の高い食品で、実施例1のようなくみあわせでは抗酸化

で PH は弱酸で一般細菌も  $3 \times 10^6$  g 以下、大腸菌群は 陰性で痴呆性疾患の改善がみとめられた。

---

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	タームコード (参考)
A 6 1 K 35/78	A E D	A 6 1 K 35/78	A E D U

F ターム (参考)

4B014	GB06	GB07	GG14	GG18	GL07
	GL10				
4B018	LB01	LE03	LE05	MA02	MS05
	MS11	MS12	MS14		
4C083	AA071	AA111	AA112	AC251	
	AD201	AD211	AD221	AD391	
	AD392	AD611	AD612	AD621	
	AD631	AD641	AD651	AD661	
	AD671	BB47	CC01	EE09	
	EE10	EE12			
4C088	AA17	AB12	AB45	AB48	AB51
	AB52	AB57	AB59	AB71	AB74
	AC01	AC03	AC04	AC05	AC06
	BA07	BA08	CA03	MA08	MA52
	NA07	NA14			